

自主防災組織を結成し、自分たちの地域を自分たちで守ろう

風水害による被害、大地震による家屋の倒壊や土砂災害、津波災害など大変大きな被害が発生しています。

災害が発生した際、市や消防など防災関係機関は防災活動に取り組みますが、災害が大規模になり、次のようなことが起こったときは、公的機関による救助活動に時間を要することが想定されます。

・道路の浸水や建物などの倒壊等により道路交通が著しく阻害されたとき

・各地で多数の火災が発生したとき
・電話が不通となり、被害状況などの情報収集が困難なとき
・停電や断水になったとき

このような場合に、災害から財産を守り、被害を最小限にするには、自主防災組織の結成を促進しています。



自主防災組織とは、地域住民が自主的に連携して防災活動を行う組織です。平時は防災訓練、広報活動、防災資機材の整備など、災害時には初期消火活動、救出救護を行います。

◇自主防災組織に対する補助制度（大網白里市自主防災組織資機材整備補助金）

市では、新たに結成された自主防災組織を対象に、50万円を上限とした防災資機材の整備費の補助を行っています。

対象資機材（例）
発電機・リヤカー・防災井戸設置・簡易トイレなど
詳細は問い合わせください。
☎0475(70)0303

避難誘導、避難所での給水給食などの活動を行います。

◇組織の結成

自主防災組織は、地域の住民が組織結成に合意し、規約を制定し、活動計画を定めることにより結成されます。自主防災組織を結成したときは市への届け出が必要です。自主防災組織は、区・自治会単位での結成とされており、結成を検討する場合は市までご相談ください。

◇自主防災組織に対する補助制度（大網白里市自主防災組織資機材整備補助金）

市では、新たに結成された自主防災組織を対象に、50万円を上限とした防災資機材の整備費の補助を行っています。

地域包括支援センターだより

～ちょっとしたきっかけから認知症かも!?と気付くコツ～

認知症の最大のリスクは加齢です。歳を取るごとに認知症のリスクは高くなり、85歳以上の2人に1人は何らかの認知症状を有しているのではないかとされています。

認知症についての正しい知識と理解を持って本人と関わることで認知症の進行がゆっくりになることも考えられます。

今回はちょっとした気付きのコツについてお伝えします。

〈冷蔵庫に大根〉

Aさんは大根の味噌汁を作ろうとしてお店に大根を買いに行きました。家に大根があるのを忘れて大根を買って帰り、また別の日にも同じように大根を買ってきてしまいました。冷蔵庫にたくさんの大根が入っている状況を遠方に住んでいる家族が見つけ、「これはなにかおかしいかもしれない」と思い相談に来られ、支援につながりました。

〈小さいお金が部屋のあちこちに落ちている〉

認知機能の低下に伴い、小銭で支払いをするのが難しくなり、お札で支払いをすることの多くなったBさん。小銭は部屋に置いて保管していましたが、以前置いた場所を忘れてしまうので1か所にまとめておくことが出来ず、家のあちこちに小銭を置いてしまいます。その状況を近所の方が見つけて相談に来られ、支援につながりました。

高齢者のちょっとした変化やサインに気付き、地域みんなで声を掛け合い、支え合うことが認知症の早期発見、早期治療、さらにはその方のQOL（人生の質）の向上にもつながります。

地域包括支援センターでは、高齢者の相談窓口として各種相談を受け付けています。地域に「ちょっと気になる、心配だな」という高齢者の方がいたらご相談ください。

☎0475(70)0439

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

性犯罪・性暴力、配偶者からの暴力（DV）、ハラスメント等の女性をめぐる各種の人権問題について、「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、全国一斉に人権擁護委員が「女性の人権ホットライン」を通じて、相談に応じます。

女性の人権ホットラインの詳細は、次のとおりです。

▼日時
・11月15日(水)～21日(火)の平日 8時30分～19時
・11月18日(土)、19日(日)10時～17時
▼電話番号
☎0570(070)810

☎千葉県人権擁護委員連合会事務局（千葉地方事務局 人権擁護課内）
☎043(247)3555

夕暮れ時の事故に注意 毎月10日は「交通安全の日」

夕暮れが早まるこの時期は、交通事故が増加します。歩行者の皆さんは、外出時には明るい服装や反射材を身に付け、車両から確認しやすいうちにしましょう。

また、ドライバーの皆さんは、自動車のライトを早めに点灯し、速度を落とすとして歩行者などに注意して運転しましょう。

悲惨な交通事故を無くすため、交通ルールとマナーを守って「交通安全県ちば」を目指しましょう。

☎千葉県くらし安全推進課
☎043(223)2263
安全対策課生活安全班
☎0475(70)0387

第15回異世代交流 子どもフェスタを開催します!

理科工作やクラフト作成等の体験コーナーと、クレープ等の食べ物販売が展示します。ぜひご参加ください。

詳細は11月下旬ごろに市ホームページに掲載します。

▶日時=12月3日(日)9時～11時30分
▶会場=農村環境改善センターいずみの里
▶主催=市子ども会

☎市子ども会育成連絡協議会事務局（生涯学習課内）
☎0475(70)0380

男女共同参画だより

～男性にとっての男女共同参画～

市の第2次男女共同参画計画では、「男女がともに認め合い、支え合い、個性と能力を發揮できる社会の実現を目指そう」を基本理念としています。

「男女共同参画」とは、男性にとっても生きがいのある社会を目指す上で重要な課題です。例えば、このような経験はありませんか。

- ・毎日残業が多く、仕事と生活のバランスが取りにくい。
- ・育児休業を取得したくても言い出しにくい職場の雰囲気があった。
- ・仕事や家庭のことで悩んでいるが、弱音を言えないし、どこに相談したら良いかわからない。
- ・会社を退職し時間に余裕ができたが、今まで仕事が忙しく地域との関わりをしていなかったため、社会とのつながりがなくなり、孤独を感じた。

男女共同参画社会を実現するためには、性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き

方の見直しによって、男性にとっても地域や社会へ参画しやすい環境づくりが求められます。内閣府ホームページでは、男性の立場・視点から理解を深めていただけるよう情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

また、千葉県男女共同参画センターでは、男性のための総合相談を受け付けています。まずは電話でご相談ください。

◇千葉県男女共同参画センター 男性のための総合相談
▶日時=毎週(火)・(水) 16時～20時、毎週(土)12時30分～16時30分
※(月)祝日の翌日(火)・祝日・年末年始は休み。
▶相談電話=☎043(308)3421
☎地域づくり課市民協働推進班
☎0475(70)0342



内閣府 男女共同参画局 ホームページ

ヘルプマーク・ヘルプカードを配布しています

ヘルプマークは義足や人工関節を使用している方、内部障がいの方、妊娠初期の方、発達障がいの方など、外見からは支援や配慮を必要としていることが分かりづらい方が援助を得やすくなるよう作成されたマークです。



ヘルプマーク（赤地に白の十字とハート）

白里出張所
☎0475(70)0337

2023年度世界アルツハイマーデー「もっと知ろう もっと語ろう 認知症」活動報告

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。これは1994年9月21日に第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催され、会議の初日である9月21日を「世界アルツハイマーデー」と宣言したことが始まりです。認知症に関する認識を高め、本人と家族に援助と希望をもたらすことを目的とし、世界各国で啓発活動が行われています。

本市では、9月19日から22日まで本庁舎入口にパネル展示を行いました。市民のみなさまにもご協力いただき、「10年後どんな市になっているといい?」という問いに、多くの声をいただきました。

認知症は誰でもかかる可能性のある脳の病気です。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、一人ひとりが認知症を正しく理解することが大切です。

☎地域包括支援センター
☎0475(70)0439

